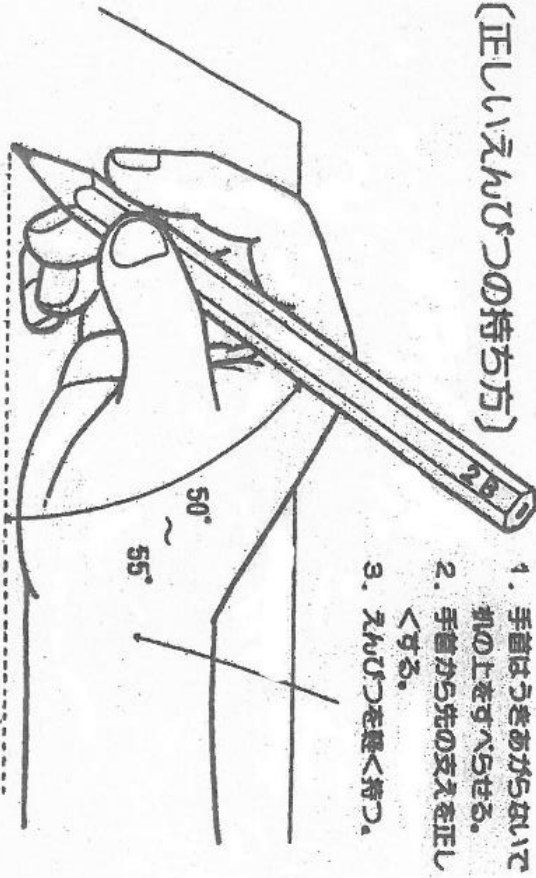


◆正しいえんぴつの持ち方をチェックしましょう

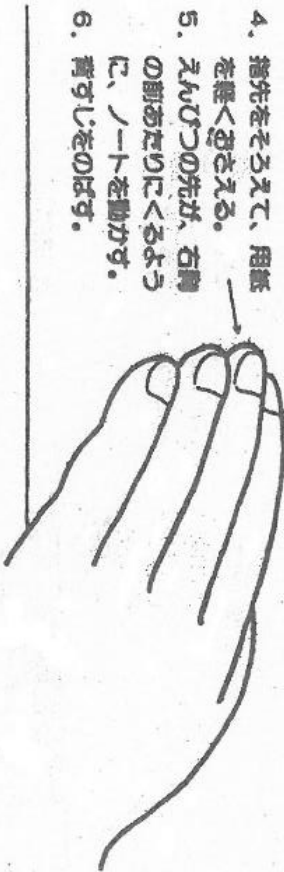
●えんぴつの持ち方が悪いと、次のように失敗します。

- ①握がつかれます。
- ②握の屈伸が少なくなるので、のびのびした大きな字が書けません。
- ③書く速度がおそくなりやす。
- ④字が見えにくい場合があります。

(正しいえんぴつの持ち方)



1. 手首はうきあがらないで机の上をすべらせる。
2. 手首から先の支えを正しくする。
3. えんぴつを軽く持つ。



4. 指先をそろえて、用紙を軽くおさえる。
5. えんぴつの先が、右胸の前あたりにくるように、ノートを動かす。
6. 背すじをのばす。

〔えんぴつを持つ時おちいりやすい10の失敗〕

①	②	③	④	⑤	⑥
●人さし指に無理な力が入っている。	●親指の位置が悪い。	●親指と人さし指がついてくる。	●人さし指を強くおさえている。	●四本の指で握っている。	●二本の指で握っている。
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
●けすつたところを持っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。	●親指が指のつけ根に入っている。